

彫刻教育の紹介

－ 感覚を表現し共有する －

宇部市では、平成23年（2011年）度から彫刻教育推進事業として、市内小中学校を対象に作品鑑賞や彫刻パネル設置体験、作家交流など、まちの彫刻を活用した授業を実施する学校に教材の貸出しや授業相談・講師派遣（T2）を行っています。

実施の流れ

1. 申込 「希望調査票」提出（学校教育課）
2. 調整 打合せ・調整・授業案（文化振興課）
3. 実施 教材の貸出しや講師派遣（T2）



プログラム

1) 模型鑑賞 － 野外彫刻の10分の1サイズの模型作品の貸出し



「ディスタンス（模型）」西澤利高、美術科／中学校1年生

図工や美術の時間での作品鑑賞をはじめ、国語の時間での俳句や詩などの言葉づくり、総合学習でのまちの特色についての学びなど、様々な形で利用されています。

2) 彫刻パネル設置体験 － 野外彫刻の大型パネルの貸出し



総合的な学習の時間／小学校3年生

まちにある野外彫刻の大型パネルを使い、校内で彫刻設置を疑似体験。身近な場所がいつもと違って見えたり、まちにある彫刻について楽しみながら親しむことができます。

3) 個別相談 － 作家交流、カスタマイズ授業、素材・技法相談や制作補助、彫刻清掃など



総合的な学習の時間／小学校5年生「彫刻かるた」、中学校1年生「彫刻清掃」

彫刻展関係作家との交流授業や教材を利用したカスタマイズ授業、図工素材や技法相談や制作補助、彫刻の清掃体験など個別相談を付けています。先生のやってみて！をお手伝いします。

観光スポーツ文化部文化振興課

755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号

TEL/FAX 0836-34-8562/22-6083

E-mail museum@city.ube.yamaguchi.jp



公式WEBサイト

小学校4年生野外彫刻鑑賞 ※別途「日程調査票」を配布しています。

対象／市内全小学校4年生

期間／11月～12月中旬（年度による）

会場／UBEビエンナーレ彫刻の丘周辺（ときわ公園）

市内小学校4年生を対象に、「きみはどうかんじる？UBEビエンナーレ彫刻の丘一周コース」と題し、「ひらめき！みつめて！なにこれ！」を合言葉に、子どもたち自身で彫刻を発見し、彫刻に触れることで生まれる感覚を言葉にして共有する鑑賞プログラムを実施しています。



教材 ※模型作品と彫刻パネルの搬入は文化振興課が行います。
※彫刻マップ、動画は公式WEBサイトでも公開しています。

- ・ 模型作品 野外彫刻の模型作品（10分の1サイズ）
- ・ 彫刻パネル 野外彫刻の自立大型パネル（100～160cm）
- ・ 彫刻かるた 市内37点の野外彫刻かるた※上宇部中3年（2020年度）読み札制作
- ・ 彫刻マップ 市内約200点の彫刻マップ（3種／ときわ公園・市街地・全域）
- ・ 動画 彫刻教育アニメーション「ネンドリアンとマープルの彫刻ってなあに？」（11分）
プロモーション動画「UBEビエンナーレ60年の歴史」（18分）



実施例

小学校

- ・ 低学年 絵具や画用紙、粘土など身近な画材の「素材・技法・制作体験」
- ・ 3年生 まちと彫刻について楽しみながら親しむ「彫刻パネル設置体験」
- ・ 4年生 感じたことを言葉にしてみる「野外彫刻鑑賞」
- ・ 5年生 まちの彫刻の「好き」を言葉にして共有する「彫刻かるた」
彫刻家の仕事や作品についてお話を聞く「オンライン作家交流」
- ・ 6年生 表現すること、素材や技法を体験「作家交流・制作体験」
- ・ ふれあい教室 「彫刻清掃」を通じた交流体験 ※協力：宇部市ふるさとコンパニオンの会

中学校

- ・ 美術科 「タイトルを考える」をテーマに「模型鑑賞」
- ・ 美術部 「作家ワークショップ」体験や「彫刻かるた」の読み札制作
- ・ 彫刻設置校 「作家交流・ワークショップ」体験
- ・ その他 地域資源を活かした「彫刻清掃」※協力：宇部市ふるさとコンパニオンの会など

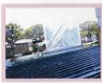


授業見学 各校の図工・美術科について授業見学をお願いしています。

児童生徒の振り返りやワークシートなど

桃山中学校 1 年生／彫刻ウォークラリー新聞

桃中ウォークラリー新聞



宇部市には、たくさん彫刻があつたけれど、普段、生活しているときにたくさん見る彫刻が、とても見えてきた。宇部市の彫刻を見ることができた。

ウォークラリーで私が印象に残った彫刻は、「超空間」と「共生」です。超空間は、水が上から流れていて、とても綺麗でした。どうして仕組みで、上からずつと流れているのが、とても不思議な感じがしました。共生は、知恵の輪のように難しい構図になっていて、他の彫刻とは違う構図だなと思いました。



共生

桃中ウォークラリー新聞



大首首

大首首は何度も見たことがあるけど、今回改めてみると、やがて大きな彫刻だと思いました。彫刻家さんは、学校をずっと小学校時代から彫刻家さんだと思いました。



渡辺祐策の像

渡辺祐策の像は、久しぶりに見ました。すごく大きくて、高いなと思いました。渡辺祐策さんは、学校をずっと小学校時代から彫刻家さんだと思いました。



ノアの家族

ノアの家族は、小学校時代の時に一緒に遊んで何回も見ていたけど、じっくり見たのは、初めてでした。最初は何かの動物の一種族かなと思っていましたが、今回改めてみると、どうなのかなと思いました。土台にも動物が彫られていて、すごいなと思いました。

まとめ

ウォークラリーを通して感じたことは、彫刻は昔からあって、あまり特別なものでもなかったけど、今回じっくり見てみて、改めて、すごさを感じました。また、今回見た彫刻は、鉄や、石でできていたものが多かったから、どうやって作っていたのか、すごく気になりました。

桃中ウォークラリー新聞



印象に残った彫刻四選

①ノアの家族
手が大きくて、彫刻が印象に残りました。彫刻家さんは、学校をずっと小学校時代から彫刻家さんだと思いました。



メッセージ

人が三角巾をかぶっているようにも見え、彫刻が印象に残りました。彫刻家さんは、学校をずっと小学校時代から彫刻家さんだと思いました。



超空間

水が上から流れていて、彫刻が印象に残りました。彫刻家さんは、学校をずっと小学校時代から彫刻家さんだと思いました。



共生

知恵の輪のように難しい構図になっていて、彫刻が印象に残りました。彫刻家さんは、学校をずっと小学校時代から彫刻家さんだと思いました。

桃中ウォークラリー新聞



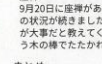
大首首

左の彫刻は「大首首」です。自分は、この彫刻が気に入っています。その理由は、大首首が完全な再現されていて、本物の大首首のようで、その作者の技術に感心したからです。作者は吉野辰夫さんです。



大首首

左の彫刻は「執念」です。この彫刻を見ると、自然と素朴で落ち着いていると思います。石がわいているようにデザインが自分にとって得意な面です。作者は清水誠児さんです。



大首首

9月20日に座禅がありました。足がしびれたり、腰が痛かったり、状況は続きましたが、忍耐しました。住職さんは取り組む姿勢が大事だと教えてくれました。姿勢が崩れていた人は罰金という水の桶でたたかれていました。自分はたたくませんでした。

まとめ

ふるさとは様々な芸術や技術、伝統があるということが、ふるさと学習でわかりました。宇部市に住む人にとって誇りに感じるだろうと実感できました。

桃中ウォークラリー新聞

桃中ウォークラリーを通して感じたことは、彫刻は昔からあって、あまり特別なものでもなかったけど、今回じっくり見てみて、改めて、すごさを感じました。また、今回見た彫刻は、鉄や、石でできていたものが多かったから、どうやって作っていたのか、すごく気になりました。



大首首

特にすごいと思った彫刻は渡辺祐策記念館にあった渡辺祐策の像です。渡辺祐策の像は、とても高い台に立っていて、すごさを感じました。次にすごいと思った彫刻は「seed増殖」という彫刻です。seed増殖はダンベルみたいな彫刻で彫刻全体が顔になっていて、反射の仕方も面白かったです。



seed増殖

まとめ

桃中ウォークラリーをやった感想は、彫刻がすごく面白かったです。彫刻は、鉄や、石でできていたものが多かったから、どうやって作っていたのか、すごく気になりました。

桃中ウォークラリー新聞

自分が見た彫刻の中で印象に残ったもの



循環メビウス

感想 バランスが良かった。感想 水の流れが良かった。感想 彫刻が大好きで、すごく好きです。



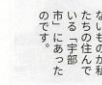
回られたピラミッド

感想 彫刻が大好きで、すごく好きです。感想 彫刻が大好きで、すごく好きです。

まとめ

新川地区にはたくさんの彫刻が見て楽しかったです。特に私は真綿川と真綿川の彫刻が見たことが嬉しかったです。

桃中ウォークラリー新聞



大首首



大首首



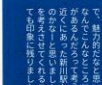
大首首

まとめ

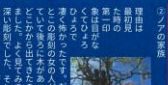
まとめ

まとめ

桃中ウォークラリー新聞



大首首



大首首

まとめ

まとめ

藤山中学校 2 年生／学芸員レクチャー（宇部市の野外彫刻展について）の感想

この授業で、彫刻がどうやって公園まで運ばれているかや、展示されている代表の彫刻を知ることができました。普段は目にしませんが、彫刻を鑑賞することはとても大切なことです。設置するのにも、すごく大変で、業者の方にも関わっています。知っているだけでも、すごくうれしかったです。これからは、田舎で彫刻を見かけたら、どんな思いでこめて作られたかを、考えてみたいと思いました。ぼくが好きな彫刻は、とさか公園にある、時の木漏れ日です。その彫刻も、とさか公園に行ったらぜひ、じっくり見て、自分なりのイメージを描いてみたいと思います。

感想

今まで自分はとても身近な「彫刻」というアートにあまり興味がなくて、どんなものか知らなかった。しかし今日の授業を通して「彫刻」というアートのすばらしさを知り、とてもすごいなと感じた。普段、何となく見ていた彫刻も、しっかりと考えるようになって、その作品に込められた作者の思いがよく伝わってきた。今まで以上に自分から見たアートの世界が広がった。これからますますいろいろな彫刻を見て、感じて自分のアートの世界をどんどん広げていきたい。

ビエンナーレとは、世界から様々な彫刻作品を募集して、集められた彫刻作品を審査員が審査して選出された作品と実際にとさか公園にそれぞれの大きさで展示する取り組み。

金属で作られる作品は、工場できに作り、とさか公園に運搬されたります。



1961年から2年に1度開催され、「最も長く続いている野外彫刻展」としてサテライトとさか公園で毎日開催した人の彫刻を自然に囲まれた中から鑑賞できる。宇部市内の駅前や、交差点、学校などにも設置され、彫刻という伝統をずっと全体的につづけている。

感想
とさか公園は昔に比べて、行ったことがあって、よく目にエサをあげに行ったり、残飯を食べに行ったり、散歩に行ったりしていたが、今、美術や学校で学んで、彫刻の深みや楽しさに気づいたら、次にとさか公園へ行くときに、じっくり鑑賞したいと思いました。



船木小学校4年生／UBEビエンナーレを見学して

